

兵庫県立大学 看護学部 デジタルヘルスケア・センター開設記念

キックオフセミナー のご案内

本学では、データヘルスやデジタルヘルスを基盤とし、地域生活者の健康維持・増進、疾病悪化予防等のために、生活者自身がセルフケアを十分に実践できることを目的として、看護力を可視化・発信するために、2023年デジタルヘルスケア・センターを開設しました。

本センターでは、地域社会における“孤立化”を予防するために、ライフサイクル上の健康課題(発達障害、産後うつ、育児負担、睡眠障害、がん・生活習慣病、介護負担、認知症など)に焦点をあて、自治体と連携して Well-being 支援のためのヘルスケアシステムを構築する事業を展開する予定をしています。

今回は、センターの開設を記念して、デジタルデバイス開発やまちづくりに関するご研究を推進されている先生方にご講演いただく予定をしております。また、本センターの事業推進者および事業内容の概要についてご説明させていただきます。

是非この機会に、研究者だけでなく地域住民の方々にもご参加いただければ幸いです。

2024年 **3月15日(金)** **13:30~17:00**

※入場無料※

兵庫県立大学 **明石看護キャンパス** **講堂**

※Zoom(ウェビナー)による LIVE 配信有り

☆申し込み☆

事前申し込みとなります。以下にアクセスのうえ、必要事項(氏名、所属、メールアドレス等)をご登録ください。後日、ここで登録いただいたE-Mailアドレス宛に Live 配信先をお送りいたします。

※スマートフォンからのお申込みの場合、PCからのメール受信ができる設定にしておいてください。

<https://forms.gle/6wMVJHi1werU7DdK8>



主催:兵庫県立大学看護学部 デジタルヘルスケア・センター
後援:明石市・播磨町

<プログラム>

☆第1部☆

- 井上 創造 先生 九州工業大学大学院生命体工学研究科 教授
ケア XDX センター長・合同 AUTOCARE CTO
博士（工学）、所属：電子情報通信学会、日本知能情報ファジィ学会



講演内容:介護・医療分野におけるビッグデータの活用とケアの創出

介護や医療分野において、ビッグデータやIoTを活用して、数秒先・数時間先・数日先といった少し先の未来が予測され、それが地域において天気予報のような「ケア予報」として活用されるための研究について紹介します。

- 江口 泰正 先生 産業医科大学 産業保健学部 人間情報科学 教育教授
博士（医学）、教育学修士、日本体力医学会認定 健康科学アドバイザー 終身称号
日本健康教育学会理事、日本ヘルスプロモーション学会常任理事、日本体力医学会評議員 他



講演内容: 人々の健康行動の変容に迫るアプローチ法とデジタルデバイスの活用

近年、ヘルスケア領域において様々なタイプのデジタルデバイスの開発が進んでいます。これらを活用することで、より手軽に健康の保持増進を図れるようになっていくことが期待されます。一方、客観的なデータを提供するだけで人々の行動を変容させることは容易ではありません。人は理屈だけでなく感情で行動を選択してしまうことが多いからです。そこで人々の背中をそっと後押しするような行動科学的アプローチを加えることにより、より良い選択をできるようにする。

そのような視点を紹介しながら、デジタルデバイスを活用したヘルスケアのあり方についてお話ししたいと思います。

- 和田 真理子 先生 兵庫県立大学 国際商経学部 准教授

東京大学大学院総合文化研究科修了 理学修士（地理学）

2010年より大学と地域の連携による、高齢化したニュータウン（明舞団地）再生に取り組む。兵庫県、神戸市、姫路市、西宮市などで、都市計画・開発やまちづくり関連の審議会委員を務める。加西市総合政策審議会会長、姫路市行財政改革市民会議副会長。



講演内容: まちづくりプロジェクトにおける孤立化予防

多くの人を包摂し孤立化を予防するためには、地域住民のふれあいやつながりを前面に出す取り組みでは限界があります。買物や仕事など経済活動や、健康や防災に役立つ活動の機会をうまくとらえ、ゆるやかなつながりをつくることが重要です。こうした場所づくりについて、事例を交えながら紹介したいと思います。

☆第2部☆

- 川崎 優子先生 兵庫県立大学看護学部 教授/デジタルヘルスケア・センター長
地域に根差した Well-being を支援するデータヘルスシステムの構築

- 笹嶋 宗彦先生 兵庫県立大学 情報科学研究科 教授
デジタルヘルスケアの可能性

<場所>

兵庫県立大学 明石看護キャンパス

明石市北王子町 13-71

<https://www.u-hyogo.ac.jp/cnas/access/>

